

○ 中学校社会 第2学年 ①

「世界から見た日本の気候」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意 態	思 判 表	知 技 理
(1)	<p>表1と表2のデータから必要な情報を読み取り、「宮崎は鹿児島や沖縄よりも冬の気温が低いのに、なぜ多くのチームがキャンプを行うのか」という問いを設定する問題である。</p> <p>2つの情報をもとに、その相関について疑問をもつ（問いかける）ことができる力が必要である。</p>	<p>地理的分野－内容(2)日本の様々な地域－イ世界と比べた日本の地域的特色－(ア)自然環境」のうち、「日本の気候の特色」についての活用問題である。</p>		○	
(2)	<p>表3から、日照時間の多さは降水量の少なさと密接な関係があることに気付き、「山地をはさんで太平洋側に位置する平野部は、冬の降水量が少ない」という既習知識をもとに仮説を設定する問題である。</p> <p>資料から得られる情報と既習知識を関連付け、その因果関係を予測する力が必要である。</p>	<p>通常の授業では、日本は周囲を海洋に囲まれており、南北に細長く中央部を背骨のように山脈が走っているという地形などから、主として温帯に属しているものの、地形や季節風などの影響により、「太平洋側」「日本海側」「内陸や瀬戸内」などでそれぞれ気候が異なることについて理解させることがねらいとされる。</p> <p>その理解内容等を、宮崎の気候や甲府盆地の気候に転用させる問題としている。</p>	◎	○	○
(3)	<p>既習の「海洋と季節風の影響を受けて異なる、太平洋側と日本海側の気候の特色」をふまえ、宮崎平野の冬の降水量が少ないメカニズムを、図で表現する能力をみる問題である。</p>		◎	○	
(4)	<p>冬の温かさや降水量の少なさ、日照時間の多さといった気候と身の回りの社会事象との関連を考察・判断する問題である。</p>		◎	○	○
(5)	<p>「甲府市は、海から離れた場所にあり、周囲を高い山地に囲まれた盆地に位置している」という知識を活用し、季節に関係なく降水量が少ないメカニズムを説明する力をみる問題である。</p>		◎		